ときわ病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし、「人権擁護の精神」を尊重し、社会福祉法人としての伝統と人間愛の精神をもって運営します。

ときわだより 第31号（冬号）

〒921-8834　野々市市中林4丁目123番地
TEL (076)-248-5221 (代表)

ときわ病院の療養病棟では１２月にクリスマス会を行いました。クリスマスケーキを食べてプレゼント渡しもありました。医師がレクリエーションに参加した病棟もあり、とても盛り上がっていました。

メンタルヘルス（心の）サポーター養成講座が行われました

　ときわ病院では１１月１８日に、心のサポーター養成講座として精神保健福祉士による見学説明会を行いました。参加者１３名の中には、ボランティアで来院した時の活動内容を確認する意欲的な方もいらっしゃいました。

　厚生労働省が令和３年から開始した「心のサポーター養成事業」では、２時間の研修によって傾聴を中心とした支援ができる人(=心のサポーター)を養成することと、メンタルヘルスに関する適切な知識をもった人を増やし、社会の差別や偏見などを低減し、精神疾患の有無や程度にかかわらず誰もが暮らしやすい社会の実現を目指しています。ときわ病院もこの事業に協働し、地域の方々のメンタルヘルスへ向けた支援を行っています。

精神保健福祉士による説明会の様子

令和６年１０月３０日

ときわ病院から災害派遣精神医療チームDPATとして、内藤医師率いる４名が輪島に赴きました

【ＤＰＡＴ隊員活動報告】

今回の活動では、被災後も地元での生活を続けている患者さんのお宅を訪問しました。ご家族の中でも不安で避難したい人と、自宅は安全だから避難したくない人がいて意見が合わない状況でした。その中でどう折り合いをつけていくか、１人１人がどんな思いでいるか、とにかく話を傾聴しました。そしてご家族それぞれが抱えている精神的負担の対処法について医師から説明を行い、処方の希望も伺いました。今後は地元の精神科に通院する提案もしました。ＤＰＡＴの活動拠点となっている市立輪島病院では玄関の自動ドアが故障で開かず、中庭の地面は隆起してボコボコな状態で震災・水害時のまま時間が止まっているようでした。震災の復興途中で取り戻しつつあった日常が豪雨による水害でまた崩れ、被災地で暮らす方々や対応を続ける支援者の疲弊は計り知れません。一歩前へ進もうと思っても目の前の環境に変化がなければ、また現実に引き戻されてしまいます。メンタルヘルスと復興のためには少しでも早い環境の調整が必須ですが、現地のガレキ撤去や修繕工事がなかなか進まない現状があり、行政の課題が浮き彫りになっています。水害でのＤＰＡＴ派遣は今回で一旦終了となりますが、前線で長期にわたって復興にあたる自治体職員や医療・福祉関係者、そして地元で生活する方々が少しでも前へ進むことが出来るように、継続的な支援を今後も続けて行きたいと思います。

無料個別相談　ときわ病院では無料の個別相談を開催しております

- 開催日：　**毎月第２土曜日　９：３０～１０：３０**
- 場　所：　ときわ病院１階・相談室１
- お問い合わせ：　ときわ病院代表電話まで　TEL：０７６－２４８－５２２１
- 申し込み方法：　予約は不要です。お気軽にお越しください。（テーマは下記参照）

R7年　開催日	無料個別相談テーマ	担当部署
1月11日(土)	認知症におけるご家族の関わりについて	東2病棟
2月　8日(土)	障害福祉サービスについて	地活・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ
3月　8日(土)	ﾃﾞｲｹｱｵｰﾌﾟﾝDay「精神科ﾃﾞｲｹｱをご存知ですか」	デイケア

家族交流会（にこにこ会）

入院・通院されている患者様・ご家族様が語り合い、分かち合う会です。ひとりで悩まないで、ぜひ一度ご参加ください。**毎月第２土曜日、１０時から**行います。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。問い合わせは地域連携室まで　TEL：０７６－２４８－９５０２

地域連携室　初めての受診・入院のご相談は地域連携室までお願いします

当院の外来が大変込み合っており、**２週間程度の日程調整が必要な状態**となっております。事前のご連絡をお願いします。入院につきましてはお急ぎの方は、可能な限り対応いたします。

地域連携室直通TEL：０７６－２４８－９５０２　　担当：藤井　木下　鷲田

電話音声ガイダンス導入のお知らせ　１２月２日より、夜間（１７：１５～翌９：００）の電話の対応を音声ガイダンスによるご案内に変更しました。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程 よろしくお願いいたします。